

谷川：白毛門沢

- ◆日程 2018年7月24日(日)
- ◆メンバー L: ST、MD
- ◆天候 晴れのち雨

7月23日夜は東京オリンピック開会式だ、みなかみ道の駅でMDさんと車中泊で呑んでいた。日本酒を2.5合ほど空けたけた頃、明日の沢入りについて簡単に打ち合わせて就寝した。



翌24日は夏日30℃はありそうだ。白毛門駐車場で手早く沢装備になり入渓、アプローチ道は明瞭で楽だった。東黒沢ハナゲノ滝は美しく、5年前に大岩の横を通った事を思い出していた、白毛門分岐で気分を入れ替える。最初は狭いゴルジュ帯を抜け階段滝を抜ける、米子沢の雰囲気に似ており、スケールは大きいが悪いところも無く小滝を次々に楽しめた。5m滝の巻きもⅢ級のスラブ登りで問題なく進めた、しばらく先の2段11m滝も同じような攻略方法だ。しかし、ここまで決して簡単

な滝ばかりではなく初級の沢とは思えない。

タラタラのセン(大滝15m)だ、水流もあり一度は怖気づく、ここで沢登りルート120を見る、「大きく巻く」となっている、よかった、登らないんだ(安堵)、しかし残置ピンは付いていた。この滝で大きく巻き過ぎた、出たのは支流で暫く進んでから本流まで藪漕ぎトラバースした大岩も超えてしまい、大ナメ滝も超えてしまった、この沢一番のポイントなのに。

この辺で白毛門山頂とジジ岩ババ岩そして、登る事になるスラブ帯が見えた、ここから標高差はまだ900mもある。12時頃、暑さはピークになり頻りに沢に浸かる、小滝の水流に頭を突っ込む、ヘルメットで沢の水を汲み頭からかぶると、とても気持ち良い。行きたい方向は北東なのに北北西に沢が流れている、二俣で道を間違えたようだ、このまま進んでも行けそうだが、来た沢を引き返した。



後で沢登りルート120を読むと、はっきりと間違いやすいので注意と書かれていた。少しずつ高度を上げスラブ登りとなる、沢の水流はまだ流れている、大きな登って小

休止を繰り返す、暑い。途中からスラブ脇が草原に変わり心地よい風が抜けていく。最後に少し藪を抜けて山頂到着、谷川岳特有の午後の雨が振ってきて、気持ちいい。(記: ST)

CT: 白毛門駐車場 7:00 - ハナゲノ滝 7:40 - タラタラのセン 9:30 - スラブ 13:00 -
白毛門山頂 15:00 - 白毛門駐車場 18:00